



柏原っ子

柏原小 HP



【学校教育目標】 挑戦 協力 思いやり

～自分も 友だちも ふるさとも大切にする柏原小の子～

米原市立柏原小学校 令和7年9月25日 No.6 文責:庄



「自己肯定感」と「自己有用感」の高まりを目指して



彼岸花が咲いているのを見ると秋の気配を感じますが、まだまだ残暑が続いており秋を本当に実感できるのはまだ先ようです。そんな中、それぞれの目標にむけて一生懸命に挑戦する子どもたちの姿がたくさん見られます。今は運動会に向けてがんばっていますが、子どもたちが一生懸命に演技している姿を見るととても感動します。一人ひとりの頑張りを称賛し励ましながら、子どもたちが「やったー!」「できた!」「もっと、やってみたい!」という達成感や成就感が得られるように取り組んでいきます。また、多くの行事がある2学期だからこそ、日常の取組を大切にしたいと考えています。学校全体での役割や学級での様々な役割をしっかりと果たし満足感が味わえることができるように、日々の教育活動を充実させ、「自己肯定感」と「自己有用感」を高めていきたいと思います。ご家庭でも、子どもたちへの励ましや応援をよろしくお願いします。

運動会に向けての取組とお知らせ

10月4日に予定している運動会の今年のテーマは、「絆でつなぐ 勝利のバトン!!」です。9月になっても暑さが厳しく、体育館での練習が中心になっていますが、子どもたちは運動会に向けて一生懸命に取り組んでいます。応援では、高学年の応援リーダーを中心にみんなでアイデアを出し合い考えた応援を下学年に伝えていく練習が始まり、子どもたちの意気込みが高まっています。本番での披露がとても楽しみです。また、応援リーダー以外の子どもたちも、自分の役割にしっかりと責任をもち取り組んでいます。



行事予定

※諸事情により中止や変更等もございます。
ご了承ください。

- 1日(水) 子ども安全リーダー会
3年生ホッケー観戦
- 3日(金) 全校給食後下校 13:30
- 4日(土) 運動会
- 6日(月) 振替休業
- 8日(水) お話会(4年生)
2年生いきいきサロン
- 9日(木) さわやか集会
3年生総合学習(徳源院)
- 10日(金) 2年生駅見学(米原駅)
- 13日(月) スポーツの日



- 15日(水) 56年出前授業(フラワー・造園)
- 16日(木) なかよし活動(はびろウォーク)
- 17日(金) 柏原中ブラスバンド来校
- 20日(月) 全校5校時下校
3年生学びっ子なし
- 21日(火) クラブ活動
- 22日(水) お話会(5年生)、絵本の広場
- 23日(木) まいばら読書の日、絵本の広場
- 24日(金) はびろウォーク(予備日28日)
- 27日(月) 3年生消防署見学、委員会活動
3年生学びっ子



令和7年度 学校評価【1学期】

挑戦

児童 保護者 職員

① 学校の勉強は わかりやすい。	95.1	88.6	100
② 先生や友だちに、自分の考えや 思いをしっかりと言えた。	95.1	84.8	100
③ 勉強でわからないときは、自分で調べたり先生や友だちや家の人に聞いた。	88.0	84.8	91.7
④ 先生や友だちの 話をしっかりと聞こうとした。	90.2	84.8	91.7
⑤ 難しいことも あきらめないで がんばった。	90.2	78.5	100
⑥ 家庭学習を（3年：40分・4年：50分・5年：60分・6年70分）以上できた。	80.5	70.9	66.7
⑦ 将来の夢や目標がある。	97.6	68.4	91.7
⑧ 家や図書室、学級などの本をたくさん読んだ。	73.2	25.3	75

協力・思いやり

児童 保護者 職員

① 学校は 楽しい。	100	89.9	917
② 学校や学級のきまりは しっかりと守ろうとした。	90.2	98.7	91.7
③ 人の役に立つ人間になりたいと思う。	97.6	97.5	91.7
④ いじめは どんな理由があってもいけない。	97.6	98.7	100
⑤ 柏原の地域や柏原に住んでいる人たちのことが好き。	97.6	84.8	83.3
⑥ 「おはようございます」「こんにちは」のあいさつを 進んでした。	97.6	82.3	100
⑦ 友だちが困っていたら、助けてあげることができた。	100	96.2	100
⑧ 自分には よいところがある。	92.7	78.5	100
⑨ 柏原小の先生は、あなたのいいところを認めてくれる。	95.1	97.5	100
⑩ 困りごとや不安があるときに 話せる先生が柏原小にいる。	95.1	73.4	100
⑪ 困りごとや不安があるときは、家族に相談できている	95.1	96.2	
⑫ 休み時間や教室移動など、ろうかは走らず歩いて移動できた。	80.5		

【考察】

- ・全体的には児童の自己評価が高く、概ね良好な学校生活を送れていると考えられる。「学校が楽しい。」「友だちが困っていたら、助けてあげることができた。」は、児童の肯定的評価が100%と高評価だった。
- ・一番の課題として考えられるのは、「読書」に関する項目で、児童・保護者・教職員ともに他と比べると評価が低い。特に、保護者の評価が昨年度よりも7%下がっているため、週末やまいばら読書の日など、定期的に読書の宿題を出すなど、家庭読書の習慣づけができるように全校で取り組んでいく必要がある。
- ・「自分にはよいところがある。」や「柏原小の先生は、あなたのいいところを認めてくれる。」の項目では、教師の評価は高いが、児童の評価は昨年度よりも下がっている。子どもたち一人ひとりに応じた丁寧な対応を心がけ、どの子も安心して過ごせる学級づくり、子どもたちの自己肯定感を高める取り組みを行っていく必要がある。